

2020年10月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2020年7、8月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概 要

全国景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる
長野県内景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化が続いている
7月の生産動向	生産は下げ止まりの兆し
8月の個人消費	乗用車新車販売は11カ月連続で前年を下回る
8月の公共投資	公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を上回る
8月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月ぶりに前年を上回る
8月の雇用情勢	有効求人倍率は8カ月連続で前月を下回る
今後は、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続くと見込まれる	

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

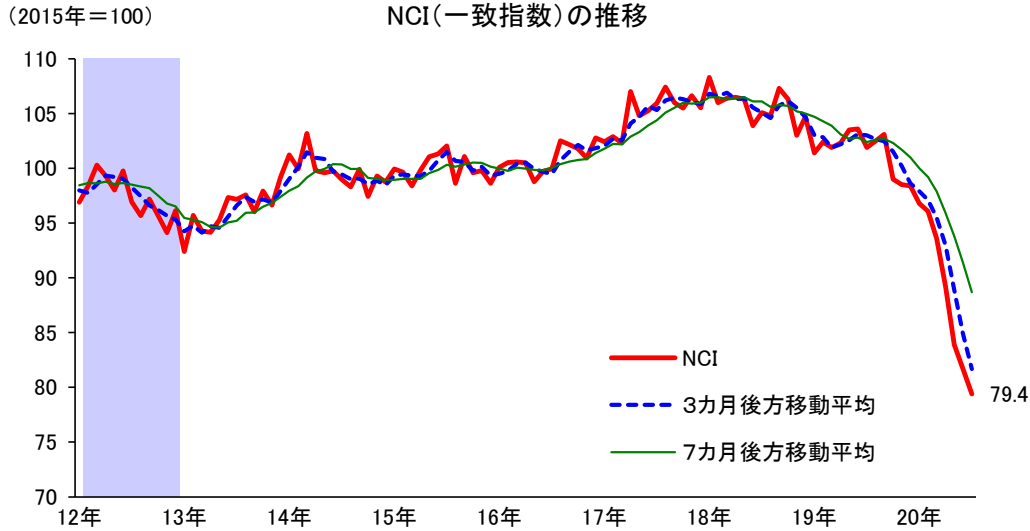
担当 桑井、中村(亮)

電話 026-224-0501

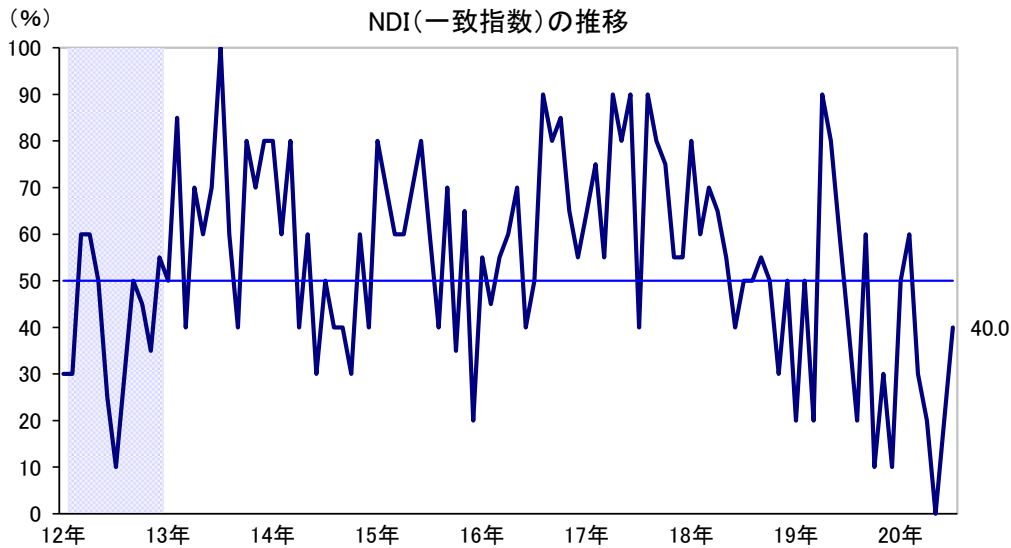


景気動向指数

- ・7月のNCI(一致指数)は、79.4と前月と比較し△2.3ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△3.3ポイントと13カ月連続で低下し、7カ月後方移動平均は同△2.7ポイントと10カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は悪化を示している。
- ・NDI(一致指数)は40.0%となり、5カ月連続で景気判断の分かれ目となる50.0%を下回った。



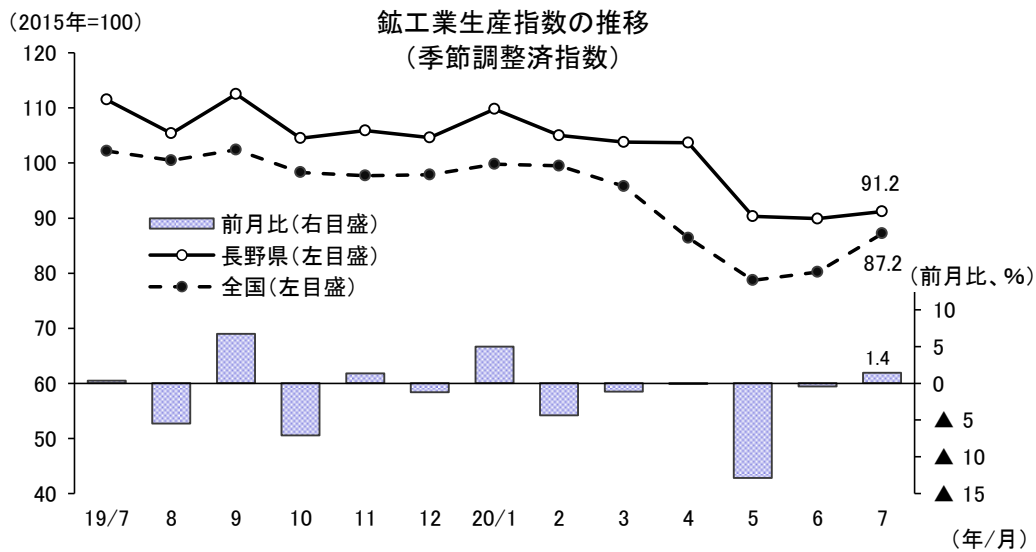
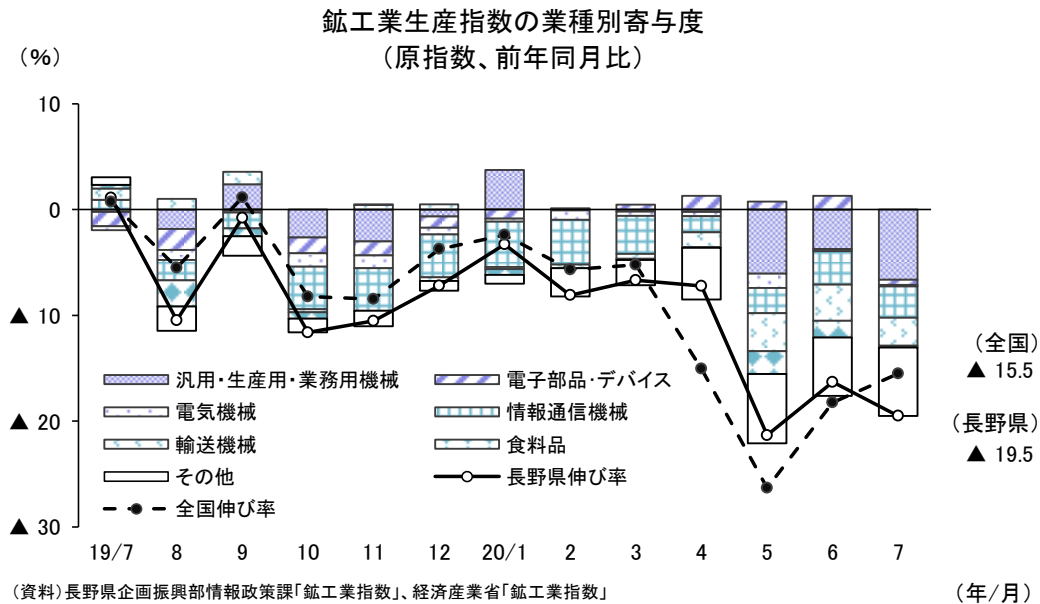
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

生産は下げ止まりの兆し

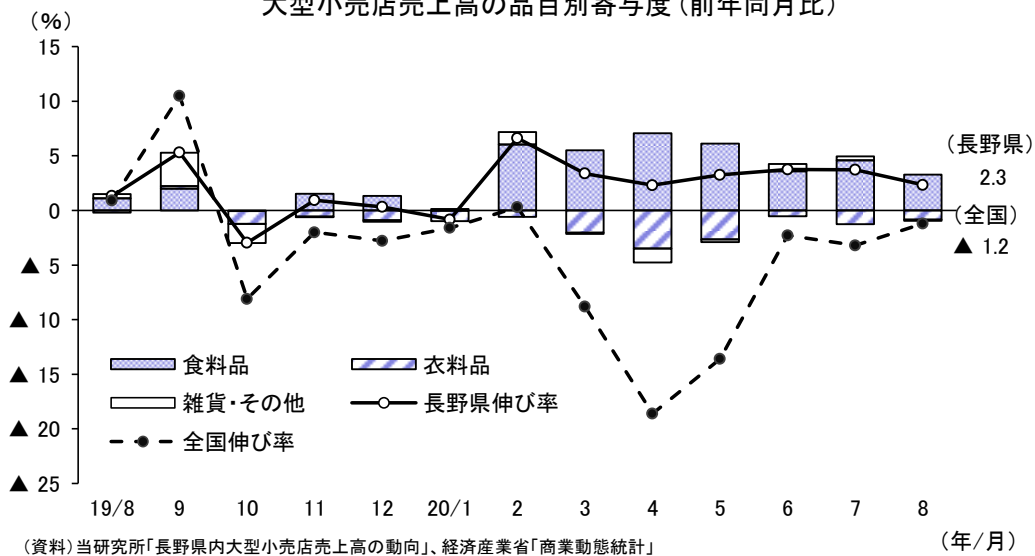
- ・7月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△19.5%、季節調整済指数は前月比+1.4%となった。
- ・原指数は12カ月連続で前年を下回ったが、季節調整済指数は6カ月ぶりに前月を上回った。生産水準は依然として低いものの、国内外での経済活動再開の動きに伴う需要の持ち直しもあり、生産は下げ止まりの兆しがみられる。
- ・主要業種別にみると、金型や産業用ロボット等の「汎用・生産用・業務用機械」や、民生用電子機械等の「情報通信機械」など、全ての業種で前年を下回った。



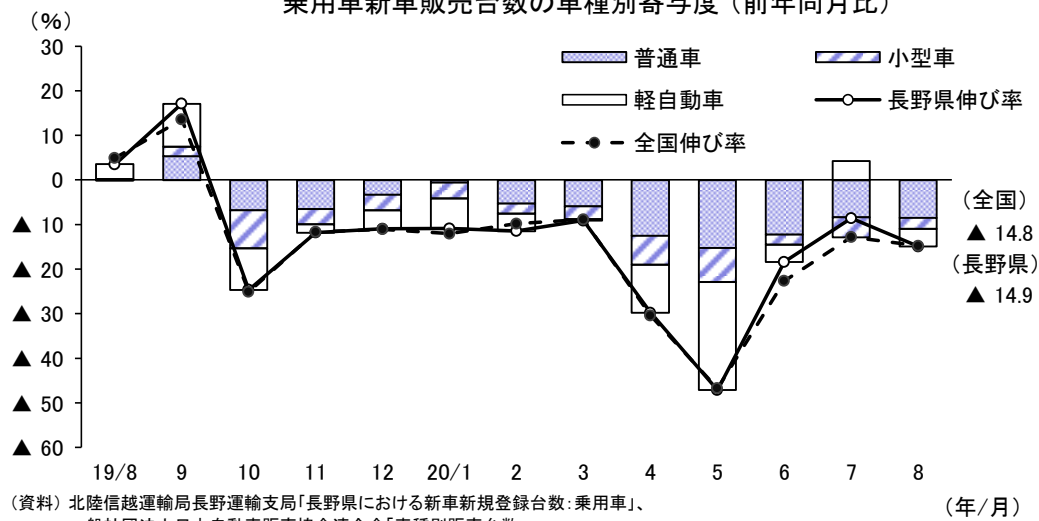
乗用車新車販売は11カ月連続で前年を下回る

- 8月の大型小売店売上高は、前年同月比+2.3%（売場面積調整前）となり、7カ月連続で前年を上回った。食料品は、新型コロナウイルスに伴う内食化の浸透や生鮮食品の相場高などで売り上げが増加し、同+3.9%となった。衣料品は、外出控えによる来店客数の減少もあり、同△16.7%だった。雑貨・その他は、化粧品などの売り上げが伸び悩み、同△1.1%だった。
- 8月の乗用車新車販売は、前年同月比△14.9%と11カ月連続で前年を下回った。新型コロナウイルスの影響に加え、前年同月の新車販売台数が高水準だったこともあり、普通車（同△26.7%）、小型車（同△9.4%）は11カ月連続で、軽自動車（同△9.4%）は2カ月ぶりに前年を下回った。

大型小売店売上高の品目別寄与度（前年同月比）

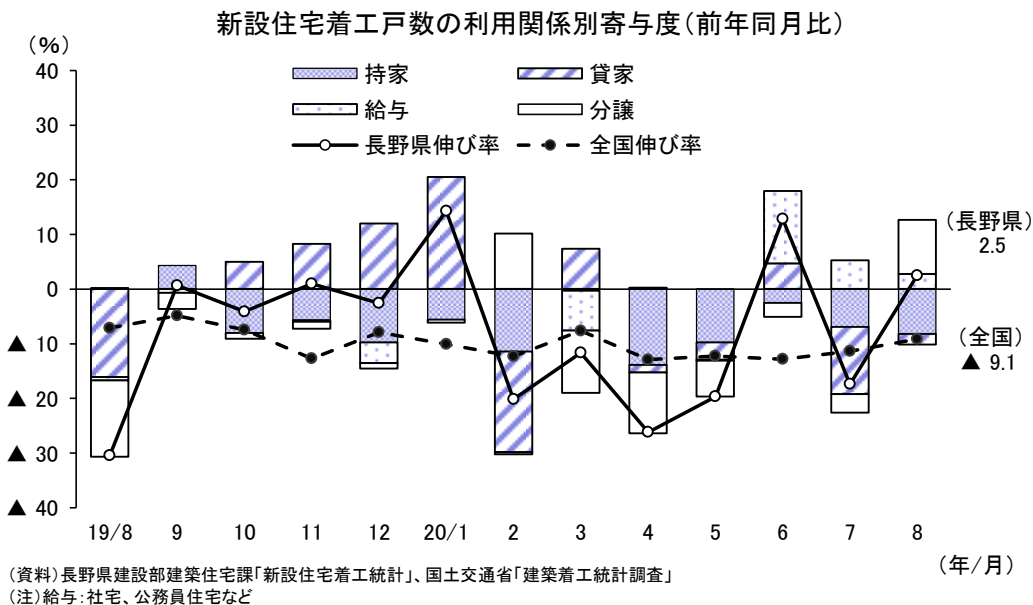
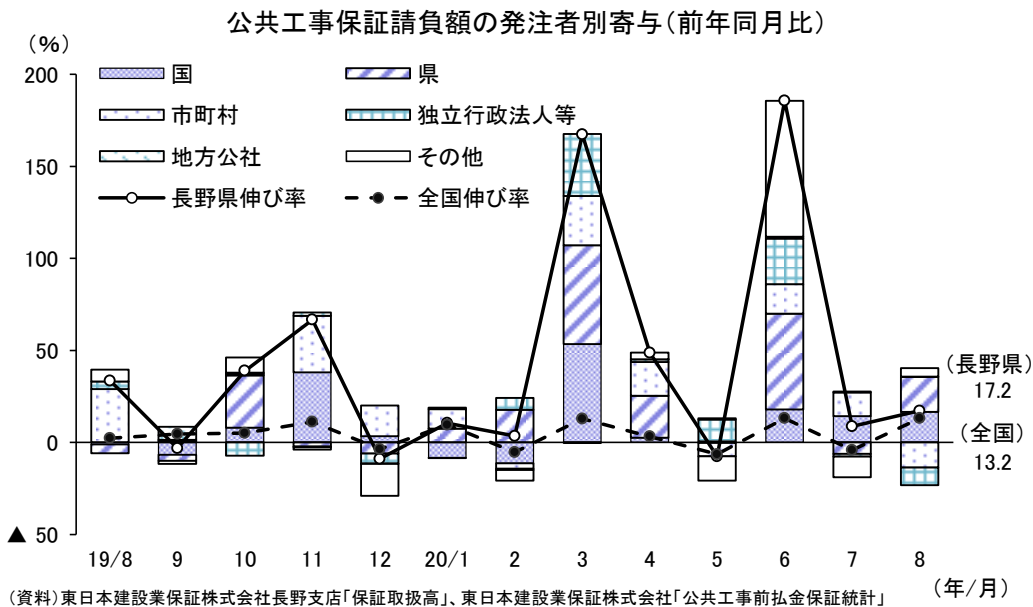


乗用車新車販売台数の車種別寄与度（前年同月比）



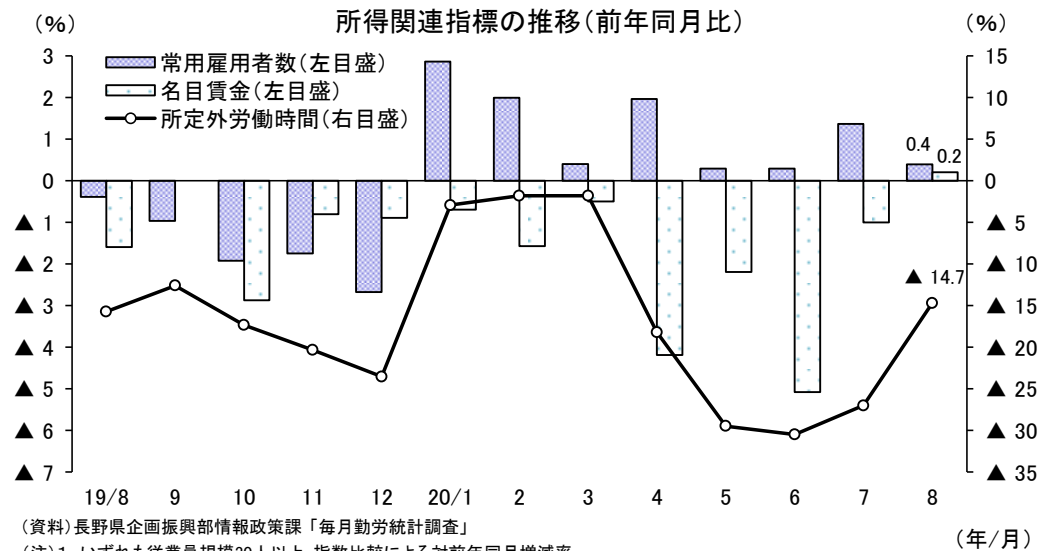
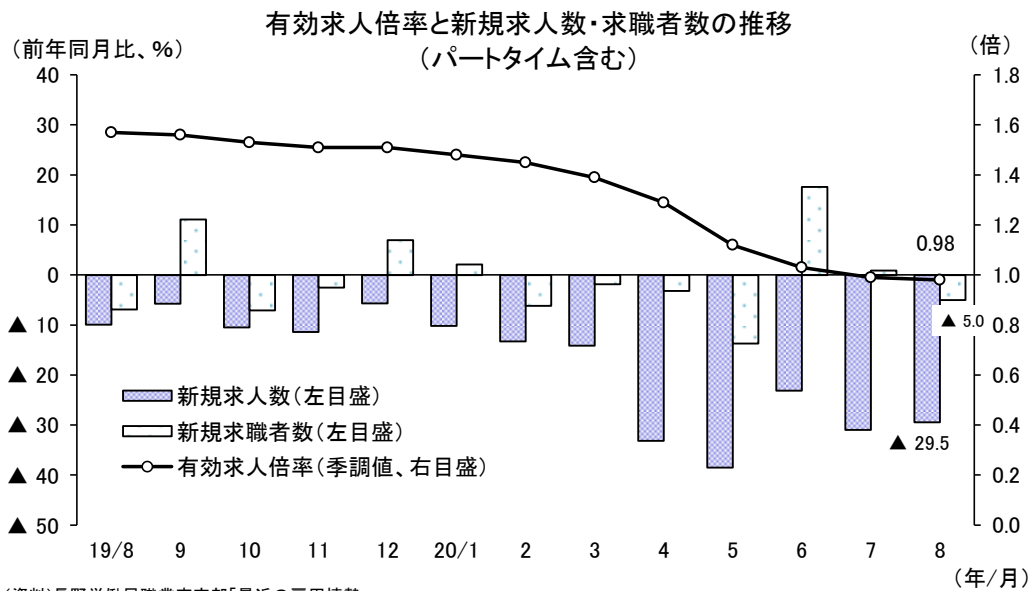
公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を上回る

- 8月の公共工事保証請負額は、前年同月比+17.2%の187億7,600万円となり、3カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、市町村が同△28.5%、独立行政法人等が同△79.9%と減少したが、国が同+142.5%、県が同+86.5%、その他が同+70.2%と増加した。
- 8月の新設住宅着工戸数は1,108戸で、前年同月比+2.5%と2カ月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、持家が同△14.9%、貸家が同△5.7%と減少したが、分譲が同+92.2%、前年に着工がなかった給与が30戸に増加した。



有効求人倍率は8カ月連続で前月を下回る

- ・8月の有効求人倍率は前月比△0.01ポイントの0.98倍となり、8カ月連続で前月を下回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△29.5%となり、18カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△27.9%、パートは同△26.9%となった。産業別では、前年を上回った産業はなく、製造業が同△37.4%、宿泊業・飲食サービス業が同△47.7%、卸売業・小売業が同△24.6%などとなった。
- ・新規求職者数(全数)は前年同月比△5.0%となり、3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・常用労働者数は前年同月比+0.4%と8カ月連続で前年を上回り、名目賃金も同+0.2%と11カ月ぶりに前年を上回った。一方、所定外労働時間は同△14.7%と20カ月連続で前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

7職業安定所で1倍割れ

- ・8月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.71ポイントの1.09倍、東信が同△0.52ポイントの1.04倍、中信が同△0.53ポイントの0.98倍、南信が同△0.60ポイントの0.90倍となった。12カ月連続で全ての地域で前年を下回った。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、伊那が0.70倍、大町が0.82倍、飯山・上田が0.95倍となるなど、7つの職業安定所で1倍を下回った。
- ・長野県の有効求人倍率は5カ月連続で全国を下回り、全国順位は前月から1つ上げ33位だった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(20年8月)

地域	北 信(1.09) (前年同月比▲0.71)				東 信(1.04) (前年同月比▲0.52)		中 信(0.98) (前年同月比▲0.53)			南 信(0.90) (前年同月比▲0.60)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.22	0.99	0.95	0.98	0.95	1.14	0.98	1.42	0.82	1.00	0.70	1.03
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.92	▲ 0.35	▲ 0.61	▲ 0.70	▲ 0.48	▲ 0.56	▲ 0.50	▲ 0.98	▲ 0.58	▲ 0.47	▲ 0.79	▲ 0.50
うち常用	1.16	0.97	0.89	0.93	0.87	1.07	0.91	1.29	0.70	0.89	0.65	0.95
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.70	▲ 0.33	▲ 0.53	▲ 0.60	▲ 0.36	▲ 0.54	▲ 0.39	▲ 1.01	▲ 0.54	▲ 0.45	▲ 0.68	▲ 0.51

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

